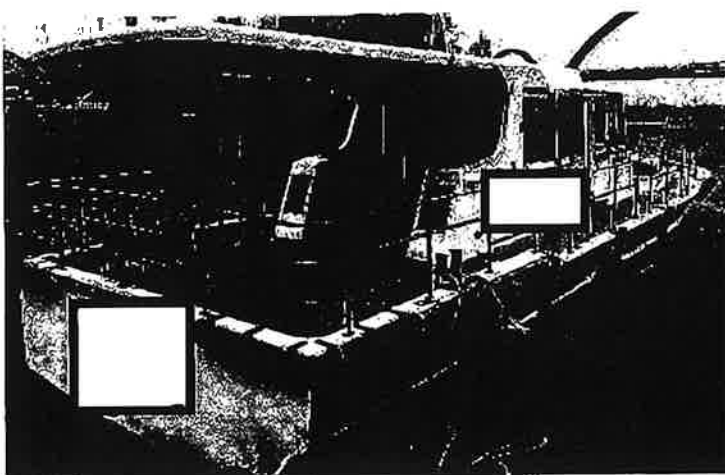
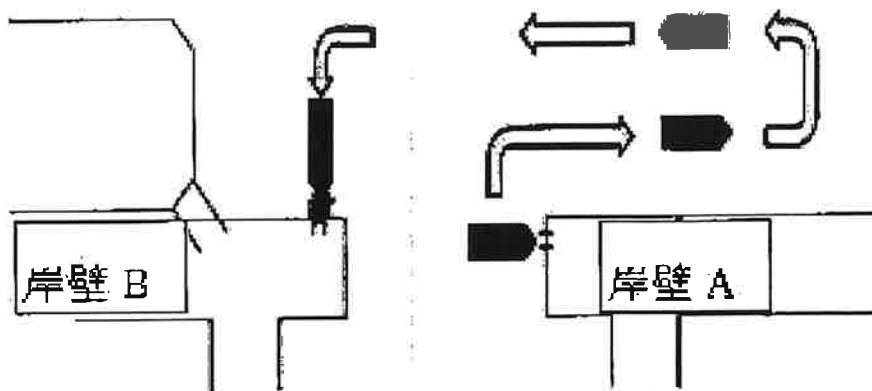


重大災害発生状況報告（7-1 確報）

発生日時	令和7年5月31日（土）6時45分頃		天候	晴			
港名	名古屋港	業種区分	港湾荷役業				
事業場名	—		規模	1,032人			
事業場所在地	名古屋市港区						
発生場所	内航自動車船 接岸岸壁						
被災者氏名	別添参照		性別	年齢	歳	経験年数	年
被災の程度	別添参照		職種	作業員		雇用形態	常用
作業の名称	作業現場への移動		作業種類	その他（移動）			
事故の型	激突（3）		起因物	その他の乗物（239）			
使用機械等	船舶		船型	その他（旅客船）			
発生状況	1 午前6時30分に、送迎用ボート（最大搭載人員55名。乗員船長1名、乗客作業員22名）を対岸にある作業現場に向け出航させた。						
	2 出航後、間もなく引き返す必要が生じたため、船長は最寄りの岸壁Bに向けてボートを航行させた。						
	3 岸壁Bへ着岸する際、ボートのエンジンが突然停止し、減速が出来ないまま、船首が岸壁Bに設置されている梯子（昇降用ステップ階段）に衝突し、その衝撃により乗船者23名のうち、乗客である作業員21名が被災した。						
	4 着岸時、エンジンアイドル300～350rpmで前進速力10ノットの状態から後進に切り替えた際に、エンジンが停止した。						
考えられる原因	国土交通省運輸安全委員会による再現調査の結果、エンジンに異常は見つからなかった。また、船長による操船についても検証を行ったが、問題は認められず、原因は不明との結論にいたっている。						

考えられる対策	<p>原因は不明であるが、エンジン停止のリスク及びエンジン停止時の被害の低減措置として、以下のとおり本件事業場において対策を講じた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 エンジンアイドル回転数を600RPMに変更・調整し、離着岸時にエンジンが停止するリスクの低減を図った。 2 作業員の作業現場への移動担当者（足船船長）を安全衛生管理組織図に追記、責任の所在を明確にした。 3 グループ内の他事業を参考に船舶安全運用マニュアルを整備、運航時の各種基準を設定し遵守することとした。その主な事項は以下のとおりである。 <ol style="list-style-type: none"> ① 出航前に船体・旅客、機関について、チェックリストを用いて点検する。 ② 離着岸時に汽笛を鳴らし、機関を一度停止、後進動作をして、乗員に着岸時の衝撃に備えるよう注意喚起をする。 ③ 着岸時は速力5ノット以下になるよう航路進入し接岸する。 ④ 離岸時、着岸時に船長から乗船者に離岸、着岸のアナウンスをする。
関係条文	<p>労働安全衛生規則 （船舶により作業従事者を輸送する場合の危険の防止）</p> <p>第531条 事業者は、船舶により労働者及び労働者以外の作業従事者を作業を行う場所に輸送するときは、船舶安全法（昭和八年法律第十一号）及び同法に基づく命令の規定に基づいて当該船舶について定められた最大搭載人員を超えて作業従事者を乗船させないこと、船舶に浮袋その他の救命具を備えること等当該船舶の転覆若しくは沈没又は作業従事者の水中への転落による危険を防止するため必要な措置を講じなければならない。</p>

送迎用ボートの航行路



【本船情報】

1. 船体

船質：FRP

長さ×幅×深さ：14.30m×4.28m×1.84m

船の深さ：1.68m

総トン数：13トン

製造者型式：15M型FRP製旅客船

2. 機関

機関の種類：船内機

製造者型式：S6M4-T2MTKL

連続最大出力：366.00KW/498.0PS

連続最大回転数：2471rpm

3. 軸系

プロペラ軸：材料TXA208、径 60.0mm

別 添

被災労働者氏名	性別	年齢	職 種	被災の程度
作業員①	男	50 歳	作業員	頸部挫傷・腰部挫傷・右肩関節挫傷・右肘関節部挫傷・右胸部挫傷 (休業見込み 2 週間)
作業員②	男	49 歳	作業員	頸椎捻挫・右膝打撲 (休業見込み 2 週間)
作業員③	男	52 歳	作業員	頸部挫傷・腰背部挫傷 (休業見込み 10 日間)
作業員④	男	50 歳	作業員	腰部挫傷 (休業見込み 6/2 から 2 週間)
作業員⑤	男	50 歳	作業員	第 4・5 腰椎間板ヘルニア (休業見込み 4～6 週間)
作業員⑥	男	40 歳	作業員	6/3 より出社 (休業 2 日) 異常なし
作業員⑦	男	42 歳	作業員	頸部挫傷・腰部挫傷 (休業見込み 1 週間)
作業員⑧	男	37 歳	作業員	腰背部挫傷 (休業見込み 1 週間)
作業員⑨	男	32 歳	作業員	頸部頸椎挫傷・左肩関節挫傷・解消性頸部症候群 (休業見込み 2 週間)
作業員⑩	男	35 歳	作業員	頸部挫傷、腰部挫傷 (休業見込み 1 週間)
作業員⑪	男	36 歳	作業員	左手部挫傷・頸椎頸部挫傷・外傷性頸部症候群・右肋骨骨折 (休業見込み 3 週間)
作業員⑫	男	35 歳	作業員	頸椎捻挫・右肩挫傷・前胸部打撲傷・腰椎捻挫・右手挫傷 (休業見込み 4 週間)
作業員⑬	男	35 歳	作業員	頸椎捻挫 (休業見込み 1 週間)

被災労働者氏名	性別	年齢	職種	被災の程度
作業員⑭	男	39歳	作業員	左肘関節挫傷・左肘関節外傷性二頭筋腱損傷 (休業見込み 6/2 から 1週間)
作業員⑮	男	20歳	作業員	頸部挫傷・腰部挫傷・両膝挫傷 (休業見込み 1週間)
作業員⑯	男	18歳	作業員	頸椎頸部挫傷・腰椎腰部挫傷・外傷性腰仙椎間板障害 (休業見込み 6/2 から 1週間)
作業員⑰	男	52歳	作業員	右混合性難聴 (休業見込み 6/2 から 2週間)
作業員⑱	男	35歳	作業員	6/4 より出社 (休業3日) 異常なし
作業員⑲	男	34歳	作業員	仙骨 2箇所骨折 (休業3か月)
作業員⑳	男	22歳	作業員	腰部挫傷 (休業見込み 1週間)

【参考】

事業場の名称	協力会社・非会員		労働者数	12人
事業場の所在地	名古屋市			
雇用形態	常用			
被災労働者氏名	性別	年齢	職種	被災の程度
作業員㉑	男	48歳	作業員	6/4 より出社 (休業3日)